

SHINODA TOKO EXHIBITION
Things Transient — COLORS OF SUMI, FORMS OF THE MIND



106歳を生きる

篠田桃紅

とどめ得ぬもの 墨のいろ 心のかたち

桃紅

2019年4月13日(土) → 6月30日(日)

高梁市成羽美術館
NARIWA MUSEUM

主催 高梁市成羽美術館
後援 岡山県、高梁市教育委員会、公益社団法人岡山県文化連盟(公財)岡山県郷土文化財団、
山陽新聞社、読売新聞岡山支局、朝日新聞岡山総局、毎日新聞岡山支局、RSK山陽放送、TSCテレビせとうち、RNC西日本放送、
OHK岡山放送、KSB瀬戸内海放送、株式会社吉備ケーブルテレビ、FM岡山、FMくらしき、レディオモモ、エフエムふくやま
企画協力 公益財団法人岐阜現代美術財団、鍋屋バイテック会社

協賛 カイタックエンタープライズ株式会社

開館時間 9時30分〜17時(入館は16時30分まで) 休館日 毎週月曜日(但し4月29日、5月6日は開館、5月7日休館)

入館料 一般1000円、高大生800円、小中生500円(団体20名以上は2割引) ※高梁市内在住の小中生入館無料

※本展会期中、「成羽の植物化石」も併せてご覧いただけます。(児島虎次郎作品・エジプトコレクションはご覧いただけません)

この春106歳を迎えた篠田桃紅。水墨抽象画という独自のスタイルを確立し、100歳を超えてなお、新たな表現に挑戦し続けています。

高梁市成羽美術館では、「自らに由って独立独歩で作品を作り、自由に生きてきました」と語る桃紅の足跡を辿る展覧会を開催します。

桃紅は1956年に渡米し、世界の最先端アートシーンを体感。伝統と革新をその身に刻み込んだ不世出の芸術家です。移ろいゆくものに心を寄せ、真の美を探求し続ける桃紅の「墨いろ」は、自然の幽玄さと宇宙の無限の広がりを感じさせ、現代を生きる桃紅によって見出された日本の普遍的な美のかたちは、一筋の線となってリズムを奏でます。

本展では、書道という枠の中で発展した初期の作品から、文字を離れ、墨の色や線を追求する独自の抽象表現を確立したニューヨークでの挑戦、日本の古典をベースに昇華された繊細で優美な表現、そして余分なものをすべて削ぎ落とし、一瞬の心のかたちを追求し続ける現在までの変遷を約80点の作品で体系的に展覧します。

しのだ・とうこう | 1913年、中国大連に生まれる。5歳の時、父の手ほどきで初めて墨と筆に触れ、以後独学で書を極める。第二次世界大戦後、文字を解体し、墨で抽象を描き始める。渡米後、ニューヨークを拠点にボストン、シカゴ、パリ、シンシナティ他で個展を開催。58年に帰国した後は、壁画や壁書、レリーフといった建築に関わる仕事や、東京芝増上寺大本堂の襖絵などの大作の一方で、リトグラフや装丁、題字、随筆を手掛けるなど、活動は多岐にわたっている。2005年、ニュースウィーク(日本版)の「世界が尊敬する日本人100人」に選ばれる。主な著書に『桃紅百年』(世界文化社)『墨いろ』(PHP研究所)など。



アトリエにて 2010年



1



2



3



5



4

1 《月読み》 1978年
2 《火》 1988年
3 《心》 2010年
4 《風の影》 1994年
5 《星霜》 1954年

Events 要入館券

オープニングギャラリートーク

4月13日(土) 11時～(約40分) | 展覧会場

講師：宮崎香里氏(岐阜現代美術館 シニア・キュレーター)

ミュージアムコンサート

4月21日(日) ①11時～ ②14時～(各回約30分)

多目的展示室

演奏：佐藤美由樹(箏)、大倉理佐(ヴァイオリン)

記念講演会 先着50名

5月19日(日) 13時30分～15時 | レクチャールーム

「現代書の展開と篠田桃紅」

講師：島谷弘幸氏(九州国立博物館館長)

※講演会当日、12時より受付にて整理券を配布します。

「わたし」と出会う」ワークショップ

6月9日(日) 13時30分～15時30分 | レクチャールーム

講師：森山知己氏(日本画家/倉敷芸術科学大学教授)

「ラクで間違いなくやれることであんまりおもしろいことはない」
篠田桃紅の言葉より

墨と筆を使って「わたし」と出会う、個性のを見つけ方ワークショップ。

定員：15名 参加費：500円 対象：中学生以上の方

申込方法：往復ハガキに郵便番号、住所、氏名(フリガナ)、年齢、電話番号、「ワークショップ参加希望」と明記し郵送してください。
※ホームページからもご応募いただけます。

応募締切：5月10日(金)当日消印有効 ※応募者多数の場合は抽選

学芸員によるギャラリートーク

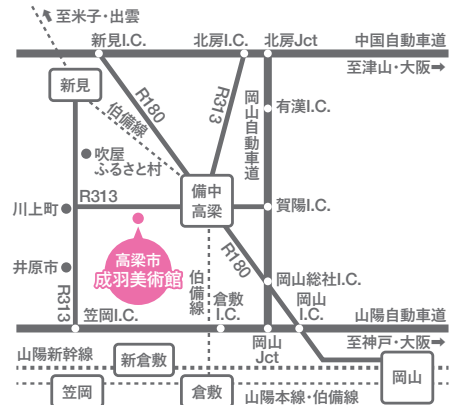
毎週土曜日 14時～(約20分) | 展覧会場

5/4(土)・5/5(日) 2日限定

和装で半額! 和装でお越しの方は、入館料半額でご入館いただけます。

アクセス

●JR岡山駅から伯備線(特急やくも)約35分、(普通)約50分、備中高梁駅下車。バスセンターから成羽方面への備北バス約20分、「成羽」停留所下車すぐ ●山陽自動車道 倉敷ICまたは笠岡ICから約50分 ●岡山自動車道 賀陽ICから約30分、岡山総社IC、有漢ICから約40分 ●中国自動車道 北房ICまたは新見ICから約50分 ●岡山空港から車で約60分



高梁市成羽美術館

NARIWA MUSEUM

〒716-0111 岡山県高梁市成羽町下原1068-3 TEL 0866-42-4455 FAX 0866-42-4451

FOLLOW US!



<https://nariwa-museum.or.jp/>